

実況中継「土曜講座」

第8号 2025年9月29日発行

市川学園9月6日の土曜講座 於 國枝記念国際ホール

富田能成先生

小さな町から未来をつくる

横瀬町町長



富田能成先生のご紹介

1965 年埼玉県生まれ。

国際基督教大学卒後、旧日本長期信用銀行（現 SBI 新生銀行）へ入行。国内営業、海外留学、海外勤務等を経て、不良債権投資や企業再生の分野でキャリアを積む。

2009 年から故郷再生を志し、2011 年から横瀬町町議会議員を務め、2015 年から現在に至るまで3 期に渡り、横瀬町町長を務める。

主な講義内容の紹介

2025 年 9 月の土曜講座は埼玉県横瀬町の現職の町長を務める富田能成先生により、『小さな町から未来をつくる』という演題でご講演をいただきました。富田先生は、自身を父親が横瀬村長を務めていたため、小学生の時は、『村長の子』ということで常に堅苦しさを感じていたそうです。しかし、大きな転機が2 回ありました。一つ目は、大学1 年生の8 月に失恋や部活での怪我、大学の先輩の突然の事故死を立て続けに経験し、『先のことは分からない。だから一番やりたいことやる』と決意し、大学を休学し世界一周旅行にチャレンジしました。そして、二つ目は、銀行員としてキャリアを積んでいた4 3 歳の時に、友人の父親の死をきっかけに、残りの時間から逆算して今度は『自分がやるべきこと』を考え、故郷の再生を志し、現在の町長を務めるに至っています。子供のころから、町長になることを考えて過ごしていたわけではありません。今までの失敗や挫折を数々経験したことのすべてが無駄ではなく、それらのすべてが町長になることに繋がっていたのです。そのことは、横瀬町の「日本一チャレンジする町・日本一チャレンジを応援する町」として官民の様々な施策を支援するという取り組みにも繋がっています。すでに『人口減少に耐え、備える』という目標に成果が出始めていて、いずれは、『若者たちが帰ってきたくなる町』にしたいと富田先生は仰っておりました。失敗を恐れずチャレンジすることで、未来は変えられるという力強いメッセージになったと思います。

受講レポートから

- ・自分が味わった挫折から学んでそれを行動しているのがすごいと思った。自分も挫折や失敗から学んで実行できるようになりたい。規模が小さいからこそその利点もあることを知った。また、その利点を活用して課題を解決しようとしているのがすごいと思った。クラスもいいところを活用すればよりよくできるのではないかと感じた。失敗が怖くてなかなかチャレンジできなかったけど、してみたいと思えた。今は成功していても未来でどうなるかは分からないから気を緩めず、努力し続けていこうと思った。慢心せずがんばりたい。自分の未来を幸せにするには、自分が今努力していくしかないから未来の社会もじぶんもよりよくしていくために勉強を頑張っていきたい。（中1）
- ・人生で様々な挫折をしているからこそ、富田先生は今町長として町のことを考えることができているのだなと思いました。先生は「46 年後の自分が未来から来たと思って」とおっしゃっていましたが私は46 年後、自分の地元をこんなに愛して将来のことを考えることができているか不安です。でもきっとチャレンジすることを怠らずに積極的に行動すれば少しは自分の夢に近づくことができるのではないかなと思います。今の私は14 歳だから将来的な「幸せ」はまだ具体的な例は分からないけれど、「幸せは人の数だけある」という言葉に共感しました。自分の思う幸せを追ってチャレンジによる失敗を恐れずに生きて行きたいです。興味深い内容が多く、非常にためになりました。（中2）
- ・講義の最後に「ピンチはチャンス」という所で失敗してもその失敗も成功も今の自分につながっている所がとても印象的だった。また勉強や仕事をするのはやはり最後に行きつくのはよりよい未来、自分なりの未来、自分なりの幸せを追求するためだということがよい学びになったと思った。横瀬町の最大の課題である人口減少を防ぐための政策というのが人口減少を止めるということではなく、観光客、名所を増やす、また町の再生において訪れる人を増やすだけでなく、町の再生によって、町から人を逃さない、とどめておくという考え方がとても新鮮だった。また横瀬町を企業の様々な実証実験地にする。企業をコラボすることで町の技術やテクノロジーなどの先進化など民間の人を増やす他に企業との連携によっても人を増やすという点でとても努力しているという印象だった。（中3）



- ・今日の講演ありがとうございました。横瀬町の再生のために「日本一チャレンジする町」という目標をかかげており、その理由に「人をひきつけ元気づけることができる」と言っていてチャレンジすることへの新たな理由に驚きました。また、まちづくりのプロジェクトを受け入れるということをしたことにも「そのような理由があったのか・・・！」と驚きました。先生が「持たざる者の強さ」ということをおっしゃっていたので、まだやりたいことや進路が決まっていなくて、自分をもっと成長させていくために失敗を恐れなくて、たくさんチャレンジをしていこうと思いました。あと、氷柱がすごく綺麗だったので、冬に横瀬町に行きたいと感じました。（高1）
- ・お話がとても面白く、最後まで楽しく聞かせていただきました。ありがとうございました。首長をしている人は皆セカンドキャリア以上というお話が印象に残りました。今までそのように考えたことがなかったのですが、様々な仕事を経験した人がいるからこそ様々な取り組みや特色が生まれる部分があるのかなと思いました。市川市長は何をしていた人なのか気になります。昨年福島県の地域活性化のお話を少し聞いたりしたのですが、地域創生は工夫や特色にあふれていてとても興味をひかれました。日本の役所がミスしないことを重視する中で果敢にチャレンジしていく精神がもちろん失敗もあると思うけどすごいなと思いました。今度横瀬町に行ってみたくまりました。苦しいことでも全てが今や未来につながっているというのがとても納得し、印象に残りました。（高2）



（文責：高倉 健 先生）